

神の子,生まれる

アドヴェント第3週

2015/12/13



創造主を受け入れなかった人間

- キリストは神であり、創造主である
 - 「初めに言(ロゴス)があった。言は神と共にあった。言は神であった。」(1)
 - 「万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」(3)
- キリストは永遠の命をもってこの世を照らす
 - 「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。」(4)
- 人間は創造主である方を十字架で殺した
 - 「言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。」(11)

ロゴス
(キリスト)

永遠の命



ロゴス
(キリスト)

永遠
の命

そんな人間に与えられた資格

- キリストはそんな人間を罰しない
 - 創造主を殺したのだから、どんな裁きを与えられたとしてもしかたない
- “しかし”キリストは人間を裁くどころか、「**神の子となる資格**」を与えて下さった
 - 「しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。」(12)
- しかもまったく無償(タダ)で!
 - キリストを受け入れ、**信じるだけ**でよい

「神の子となる」とは

- 親の子どもに対する気持ち(親バカ)
 - 自分の子どもは特別かわいい・天才だと思う
 - 自分の何倍も子どもを心配している
 - 子どもの成長のためならどんなことでもする
 - 報いを求めず,犠牲を払い続ける
- 創造主である神様が「親」となり,私たちを本当の「子ども」としてあつかって下さる!
 - 人間の「親」を造られた神様が,完全な愛で愛される
 - これ以上,安心なこと,幸せなことはない

「神の子となる」とは

○ 親の子どもに対する気持ち(親バカ)

○ 自分自身を「神の子」だと思ふ

○ 自分自身を「神の子」だと信じる

○ 神の子になる

○ 神の子になる

○ 神の子になる

○ 本当の神の子になる

○ 人間が神の子になる

○ される

○ これ以上,安心なこと,幸せなことはない

**神様こそ
本当の
“親バカ”だ**

神の子,生まれる

- 「神の子となる」のは「人の子となる」のとは違う生まれ方をする
 - 「この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。」(13)
- 結婚により,人間の母から,死ぬべき肉体を持って生まれるのではない
 - 神の意志により,「永遠の命」をもって生まれる
- クリスマスとは,人間が「神の子として生まれる」ことになった日である!

創造主



人の子

クリスマス

神の子



人間